

2021 年度

東京都立大学 (旧首都大学東京)
大学院

システムデザイン研究科
システムデザイン専攻

学生募集要項
(博士後期課程)

〈夏季入試・冬季入試〉

- ・ 一般選抜
- ・ 社会人特別選抜
- ・ 外国人留学生特別選抜



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

夏季入試と冬季入試とでは、手続等が
異なっているので、よく確認の上、出願すること。

首都大学東京は、2020 年 4 月 1 日に大学名称を東京都立大学に変更しました。

大学院システムデザイン研究科 アドミッション・ポリシー (抜粋)

世界は大きく変わりつつあります。ものづくりや様々なサービスに関わる世界中の企業・組織そして機械までもがインターネットや衛星通信で結ばれ、人工知能を駆使して個人の嗜好を反映した今までにない価値が生まみ出され、生産性や利便性の大幅な向上が図られています。大学院システムデザイン研究科では、このような産業構造のダイナミックな変化に対応するために、従来の工学において普遍的に必要とされる要素技術の分析・解析能力に加え、工学に基づく製品やサービス全体をシステムとして捉え、機能と感性の融和を重視した総合的で分野横断的なシステム設計・開発能力を有する国際感覚をもった研究者・技術者を育成します。本研究科の5つの学域は、相互連携を重視しながら、専門分野の高度な知識と応用力・創造力、そしてそれらを基礎として涵養される問題発見・解決力を付与すべく研究教育を行っています。この教育目的に沿って自己研鑽し、最先端の研究開発・デザインに情熱を持って取り組むことのできる人を求めます。

情報科学域

1 理念

情報科学域では、情報科学に関する高度な専門知識・技術と国際的に通用するコミュニケーション力を基盤として、情報科学の進展に貢献する新たな理論や情報化社会を支える技術を開拓できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- (1) 先進的な情報科学の専門知識・技術をしっかりと身に着けている人
- (2) 情報処理技術、情報通信技術、それらの基盤となるシステム技術における新しい創造に対して主体的に取り組む意欲を持っている人
- (3) 国際的に通用するコミュニケーション力を有している人

3 入学者に求める能力

- (1) 情報科学に関する深い専門的知識と高度な技術
- (2) 自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力
- (3) 国際的な視野から情報科学の研究や技術開発を進めるために必要な語学力

電子情報システム工学域

1 理念

電子情報システム工学分野の高度で先端的な専門教育と課題研究を通して、情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する総合的知識を実践的に形成し、高度な課題解決や課題発見能力、高い倫理観及び使命感を兼ね備えた創造的な研究者並びに技術者の育成を行っていきます。

2 求める学生像

電子情報システム工学分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、電子情報システム工学分野で卓越した知を創出することのできる人。

3 入学者に求める能力

- (1) 志望分野に関する深い専門的知識
- (2) 情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する専門的知識並びに専門分野のみならず広い分野の知識
- (3) 先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力
- (4) 使命感を持って研究に取り組み、技術開発を通して社会や環境へ貢献する意欲

機械システム工学域

1 理念

機械システム工学域では、都市生活における人間の安全性と快適性及び地球環境や社会の持続可能性に配慮した先進の機械システム工学の教育を基盤とし、学際分野、未開拓分野にも対応可能な高度な創造性や卓越した応用展開力を有する技術者・研究者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

機械システム工学分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、本分野で卓越した知を創出することのできる次のような学生を求めます。

- (1)機械制御・メカトロニクス、サービス情報・ロボット工学等の知能機械システムの研究分野をより深く探求したい人
- (2)ナノマイクロ等の機械創成の研究分野をより深く探求したい人
- (3)再生医工学・医用生体工学・生体材料、人間工学・福祉工学等の生体機械システムの研究分野をより深く探求したい人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)機械システム工学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力
- (3)志望分野において（分野を横断して）、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力

航空宇宙システム工学域

1 理念

最先端の総合工学の結晶である航空機、ロケット及び人工衛星等の航空宇宙システムは、今日では移動手段・情報通信・気象予報等、現代社会を支える基盤技術となっています。航空宇宙システム工学域では、航空宇宙分野はもとより次世代科学技術の発展を担うことができるような応用能力に富み、広い視野を持った卓越した研究者・技術者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

航空宇宙工学における各専門分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、当該分野で卓越した知を創出することのできる次のような学生を求めます。

- (1)先進的な航空宇宙工学を習得し、優れた研究成果をあげることができる十分な博士前期課程相当の学力・研究能力を有する人
- (2)自然科学に関する論理的な思考力・表現力、新たな理論を構築できる柔軟な洞察力を有する人
- (3)多様な考えを持つ人たちと主体的に協働する力を有する人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)航空宇宙工学の研究活動を通じて学術の高度化に寄与する卓越した能力
- (3)志望分野において、分野を横断する広い視野から先駆的な研究課題を自ら設定し、課題を解決する卓越した能力

インダストリアルアート学域

1 理念

現代の激しい社会の変化、価値観の変化、技術の革新の波の中で、これらの変化に迅速に対応し時代を先導できる柔軟で革新的な発想力を持ったクリエイターが強く望まれており、本学域では、この社会の要請にこたえるため、国際的視野を持って、新しいアプローチ、コンセプト、枠組みのデザインを創造・研究・実践するとともに、社会の枠組みの変化さえ先導しようと発想するパイオニアの育成を目指しています。

2 求める学生像

- (1)プロダクトデザイン、メディアアートの分野に関わる世界の先端的課題に創造的に挑む使命感を持っている人
- (2)人間・環境・もの・情報・システムに関わる意味や感覚に鋭敏に感応し、それらに新しい形を与える洞察力や総合力を培い高め磨くことに卓越している人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)デザイン学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力
- (3)志望分野において先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力

※アドミッション・ポリシーの全文は本学ホームページにてご確認ください。

URL (https://www.tmu.ac.jp/entrance/graduate/admission_policy/sd.html)

目次

1	本文	1
2	特記事項（一般選抜）	9
3	特記事項（社会人特別選抜）	10
4	特記事項（外国人留学生特別選抜）	11
5	博士後期課程の概要	12
6	指導予定教員一覧	15
7	出願書類様式	20
8	連絡及び問い合わせ先	巻末

【本文】

本項に加え、選抜区分ごとの特記事項を P. 9 以降に記載しているので、志願する選抜区分の特記事項も必ず確認してください。

1 募集学域及び募集人員

学 域 名 Department	募集人員					
	＜夏季入試＞			＜冬季入試＞		
	一般選抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生 特別選抜
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	6 名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science (EECS)	6 名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	6 名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	4 名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
インダストリアルアート 学域 Department of Industrial Art	4 名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

(注 1) 各学域の領域/分野、研究内容及び指導予定教員は、本要項 (P. 12～19) に記載されています。

志願者は、出願する前に必ず希望指導教員と連絡を取り、受験承諾を得てください。

(出願時には受験承諾書が必要です。)

(注 2) 国費留学生 (日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生) は、外国人留学生特別選抜に出願してください。

2 出願資格

(1) 出願資格

選抜区分により該当する出願資格が異なるので、P. 9 以降の選抜区分ごとの特記事項を必ず確認してください。

また、②、③、④、⑤又は⑥に該当する者は、「(2) 出願資格認定審査」を必ず確認すること。

- ① 修士の学位若しくは専門職学位 (学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則 (昭和 28 年文部省令第 9 号) 第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。) を有する者又は 2021 年 3 月 31 日までに取得見込みの者

(ただし、2021 年 3 月修了見込みの者で、同月末での在学年数が 2 年に満たないものの出願は、冬季入試においてのみ認めます。)

- ② 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2021 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2021 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- ⑥ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳（2021 年 4 月 1 日現在）に達した者

(2) 出願資格認定審査

上記(1)②、③、④、⑤又は⑥によって出願する者は、事前に出願資格認定審査を行いますので、下記により申請書類を日野キャンパス管理部学務課教務係に簡易書留にて郵送してください(送付先住所は巻末を参照)。ただし、国費留学生は出願資格認定審査を免除します。

なお、日本語又は英語以外の書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

また、出願資格認定審査申請時に成績証明書等を提出した場合、内容に追加等がない場合は、出願時に別途成績証明書等を提出する必要はありません。

ア 申請書類

- ・ 出願資格認定審査申請書（本募集要項所定の様式）【P. 20】
- ・ 最終学歴修了（卒業）証明書（原本）
- ・ 最終学歴成績証明書（原本）
- ・ 研究業績書（本募集要項所定の様式）【P. 30】
- ・ 認定結果通知返信用封筒

封筒(長形 3 号)に返送先の郵便番号、住所及び氏名を記入し、郵便切手 374 円分(84 円＋速達料金 290 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼付したもの

イ 受付期間（簡易書留により郵送すること。その他の提出方法は認めません。）

＜夏季入試＞2020 年 6 月 8 日（月）必着

＜冬季入試＞2020 年 11 月 27 日（金）必着（夏季入試で認定された場合も再度審査が必要）

封筒余白に「出願資格認定審査申請」と朱書きしてください。

なお、郵便事情による遅配及び未着の責は負えませんので、了承願います。

ウ 認定結果の通知

認定結果の通知が、出願受付期間初日の 1 週間前を過ぎても届かない場合には、日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

(3) 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について

- ・身体障がいなどで受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、夏季入試については2020年5月25日（月）から5月29日（金）17時までに、冬季入試については2020年11月9日（月）から11月13日（金）17時までに、日野キャンパス管理部学務課教務係に相談してください。
- ・海外に在住しており、インターネットを用いた口頭試問を希望する者は、夏季入試については2020年6月8日（月）までに、冬季入試については2020年11月27日（金）までに、希望指導教員に申し出てください。

3 出願期間及び方法

出願書類を下記により、日野キャンパス管理部学務課教務係に郵送してください。

＜夏季入試＞2020年7月6日（月）から7月9日（木）まで（7月9日必着）

＜冬季入試＞2021年1月4日（月）及び1月5日（火）（1月5日必着）

- ※ それぞれの出願期間の始期（7月6日又は1月4日）より前に到着した場合も受け付けます。
- ※ 所定の封筒を使用し、必ず「簡易書留」及び「速達」扱いにして郵送してください。その他の提出方法は認めません。
- ※ 受験票が試験日の1週間前になっても到着しない場合は、日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

4 出願書類

出願書類は日本語又は英語で明瞭に記入してください。日本語又は英語以外の書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

出願書類等	頁	注 意 事 項
志願票等（受験票一式）	21 ～ 26	・選抜区分ごとに様式が異なるので注意してください。 ア 一般選抜【P. 21・22】※灰色 イ 社会人特別選抜【P. 23・24】※水色 ウ 外国人留学生特別選抜【P. 25・26】※赤色 ・志望領域/分野及び希望指導教員名を必ず記入してください。
受験承諾書	27	・希望指導教員が作成したもの（スキャンしたものでも可）
研究計画書	28	・入学後の研究計画（研究テーマ等）を、5枚程度にまとめてください。 ・用紙は本募集要項所定の用紙を複写して、使用してください。 ・研究計画書の内容は、選考を実施する上で重要な判断要素となるため、具体的かつ詳細に記述するよう努めること。なお、計画書には必ず表題を付すこと。
研究論文等（インダストリアルアート学域以外）	—	・研究論文、著書、技術報告、特許及び実用新案等業績評価に必要な資料（修士（博士前期）課程修了見込みの者は、修士論文／修了制作の中間報告書）
ポートフォリオ又は論文（インダストリアルアート学域のみ）	—	・インダストリアルアート学域に志願する者は必ず、これまでの勉学の成果を示すポートフォリオ又は論文を提出してください。修士論文又は修士研究の概要をポートフォリオの中にも含めても結構です。 ・ポートフォリオが指定の封筒に入らない場合は、出願期間中に別の封筒にて郵送する（封筒に「ポートフォリオ在中」と朱書きすること）か、日野

		キャンパス学務課窓口に持ち込んでください。ただし、ポートフォリオ以外の出願書類は、必ず指定の封筒で郵送し、ポートフォリオは別に送る旨のメモを同封してください。
入学考査料の振込証明書又は収納証明書	29	- 提出方法等は、「5 入学考査料の支払いについて」(P. 5) を参照してください。 - 東京都立大学大学院の博士前期課程を 2020 年 9 月に修了した者又は 2021 年 3 月までに修了見込みの者が東京都立大学大学院博士後期課程に出願する場合は、入学考査料の徴収を免除します。
成績証明書 ○ ※	—	出身大学長又は研究科長が作成し、厳封したもの（原本）
修了証明書等 ○ ※	—	「1 出願資格」(P. 1) の(1)①から④に該当する者については、修士（博士前期）課程の修了（見込）証明書（又は学位授与（見込）証明書）（原本） 「1 出願資格」(P. 1) の(1)⑤又は⑥に該当する者については、学部等の卒業証明書（原本）
研究業績書	30	社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。
業務経歴書	31	社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。
推薦書	32・33	- 社会人特別選抜又は外国人留学生特別選抜に志願する者のみ提出してください。 - 選抜区分ごとに様式や記入方法が異なるので注意してください。 ア 社会人特別選抜【P. 32】 企業等の所属長が作成し、厳封したものに限ります。ただし、個人事業主については、出身大学の指導教員又は本人をよく知る者が作成した推薦書に代えます。 イ 外国人留学生特別選抜【P. 33】 出身大学の指導教授又は本人をよく知る関係者が作成し、厳封したものに限ります。
履歴書	34	外国人留学生特別選抜に志願する者のみ提出してください。
住民票記載事項証明書	—	外国人の方のみ市区町村長発行の「住民票記載事項証明書」を提出してください。（外国人登録をしていない場合は、身分を公的に証明できるもの（パスポート等）の写しを提出してください。）
返信用封筒（2枚）	別添	本学所定の封筒に、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 ア 受験票等送付用封筒 郵便切手 544 円分(94 円＋速達 290 円＋特定記録郵便 160 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。 イ 合否結果送付用封筒 郵便切手 544 円分(94 円＋速達 290 円＋特定記録郵便 160 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。
他大学院受験許可書	—	現在、他大学院博士課程に在籍している者は、在学中の大学が発行する他大学院受験許可書（様式自由）を提出してください。
連絡用あて名シール	別添	本募集要項添付のシールに送付先の郵便番号、住所、氏名を記入してください。（合格者への入学手続書類送付（2021 年 1 月以降）の際に使用します。）

留 学 ビ ザ 取 得 ・ 更 新 サ ポ ー ト 申 込 書	別 添	・ 在留資格を有する者又は本学への入学に際し在留資格を新規に取得する者は、必ず提出してください。
---------------------------------------	-----	--

(注) 日本語又は英語以外の出願書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

翻訳者の氏名及び連絡先を明記してください。翻訳は本人が行っても構いません。

ただし、研究論文等は表題のみ日本語訳を添付してください。

※送付用封筒の裏面に「出願書類等のチェック表」があるので、必ず確認しチェックを入れてください。

※ システムデザイン研究科又は理工学研究科電気電子工学専攻若しくは機械工学専攻の**在学**生は、
○がついた書類は志願者本人からの提出は不要です。

5 入学考査料の支払いについて

入学考査料（30,000 円）の支払方法等は下記のとおりです。

(1) 振込依頼書による振込みの場合

- ・ 本募集要項添付の振込依頼書で、郵便局（ゆうちょ銀行を含む。）を除く金融機関の窓口から振込みをしてください。（ATM から振込みをしないでください。また、金融機関の窓口終了時間にご注意ください。）
- ・ 全国の金融機関から振込み可（みずほ銀行の本支店から振込むと手数料がかかりません。）
- ・ 銀行収納印が押された振込証明書の原本を本募集要項添付の用紙（P. 29）に貼り、提出してください。

(2) Web による支払い（E-支払いサイト）の場合

- ・ 納付方法の詳細は、別紙「東京都立大学 システムデザイン研究科（日本国内からの出願）入学考査料払込方法」を参照してください。
- ・ E-支払サイト（<https://e-shiharai.net/>）へ事前申込のうえ、コンビニエンスストア、ペイジー対応の ATM、ネットバンキング、クレジットカード、Alipay 国際決済（支付宝）、又は銀聯ネット決済により納付してください。（日本国外から支払の場合は、クレジットカード、Alipay 国際決済（支付宝）、銀聯ネット決済のみ。）なお、振込手数料は各自で負担してください。

《①日本語サイトからの支払い》

支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、本募集要項添付の用紙（P. 29）に貼り、提出してください。

《②英語サイトからの支払い》

支払後、印刷した「Result Page」を出願書類と共に提出してください。

	支 払 期 限
夏季入試	2020 年 6 月 1 日（月）から同年 7 月 9 日（木）まで
冬季入試	2020 年 11 月 30 日（月）から 2021 年 1 月 5 日（火）まで

(注) E-支払サイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の FAQ 又は「よくある質問（<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>）を参照したうえで、E-サービスサポートセンターへ問い合わせてください。

(3) 入学考査料の免除について

本学が指定する自然災害（東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、平成 30 年 7 月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年 8 月の前線に伴う大雨、令和元年台風第 15 号（台風 15 号による停電含

む) 又は令和元年台風第 19 号) により本人又は主たる学資負担者が被災した志願者は、入学考査料を免除する場合がありますので、入学考査料の支払い前に、日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

6 試験日時及び試験科目等

〈夏季入試〉

学 域	試 験 日 時 (※1)	試験科目等
情報科学域	2020 年 8 月 19 日 (水) 又は 8 月 20 日 (木) の各学域が指定する日時 ※受験票の発送時に本人へ通知	口頭試問
電子情報システム工学域		
機械システム工学域		
航空宇宙システム工学域		
インダストリアルアート学域 (※2)		

(※1) インターネットを用いた口頭試問により試験を実施する者については別途指定する。

(※2) インダストリアルアート学域の口頭試問では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。

(注) 2020 年 8 月 21 日 (金) を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。

詳細及び上記によらない場合の対応については、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) にて周知します。

〈冬季入試〉

学 域	試 験 日 時 (※1)	試験科目等
情報科学域	2021 年 1 月 21 日 (木) の各学域が指定する時間 ※受験票の発送時に本人へ通知	口頭試問
電子情報システム工学域		
機械システム工学域		
航空宇宙システム工学域		
インダストリアルアート学域 (※2)		

(※1) インターネットを用いた口頭試問により試験を実施する者については別途指定する。

(※2) インダストリアルアート学域の口頭試問では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。

(注) 2021 年 1 月 23 日 (土) を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。詳細

は、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) にて周知します。

7 試験会場

東京都日野市旭が丘 6 丁目 6 番地

東京都立大学 日野キャンパス

又は本研究科が指定する場所

8 合格者発表

発表日時から 7 日間に限り、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) に掲載します。また、発表日時以降に郵送により本人あてに通知します。電話等による可否の問い合わせには応じません。

〈夏季入試 発表日時〉2020 年 9 月 4 日 (金) 午前 10 時

〈冬季入試 発表日時〉2021 年 1 月 29 日 (金) 午前 10 時

9 入学時期

2021 年 4 月

10 入学手続

合格者 (夏季入試での合格者については**入学確約書を提出した者**) に別途通知します (2021 年 1 月下旬予定)。なお、入学手続は 2021 年 3 月に行います。

11 その他

- (1) 出願書類に欠落がある場合は不受理となります。
- (2) 出願を受理した後は、一度納付した入学考査料は返還しませんので、出願については十分に検討したうえで納付してください。

入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に振り込んだ場合は、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のホームページ

(https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html) をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学科・授業料」

- (3) 入学許可を受けた者が出願資格を失った場合は、入学許可を取り消します。
- (4) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学許可を取り消します。
- (5) **夏季入試での合格者**は、合格通知書と一緒に郵送する**入学確約書**に必要事項を記入し、**2020 年 9 月 18 日 (金)**までに日野キャンパス管理部学務課教務係まで郵送 (必着) してください。**入学確約書を提出しない場合は、当研究科に入学の意思がないものとして取り扱います。**
- (6) 入学料は郵便局を除く金融機関の窓口から振込みをしてください。振込方法は別途連絡します。
 - ・入学料：東京都の住民 141,000 円 (予定額)
 - それ以外の者 282,000 円 (予定額)
 - ・「東京都の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは一親等の親族が、入学の日 (2021 年 4 月 1 日) の 1 年前 (2020 年 4 月 1 日) から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。その認定は、本人が東京都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、その他の場合

は、東京都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。

- (7) 授業料 年額 520,800 円（予定額）は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の2分の1を口座振替により納めることになります。
- (8) 入学料及び授業料は、入学時又は在学中に授業料等の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。なお、入学料と授業料には免除又は減額等の制度があります。
- (9) 東京都立大学大学院の博士前期課程を、2020 年 9 月に修了した者又は 2021 年 3 月までに修了見込みの者が、東京都立大学大学院博士後期課程に入学する場合は、入学料の徴収を免除します。

12 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 本学への出願の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選考実施及び合格発表）及び入学手続きを行うために使用します。
また、入学者の個人情報は、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用することがあります。

13 長期履修制度のお知らせ

本研究科では、長期履修制度を導入しています。制度の利用を希望する場合、申請手続が必要となります。詳しくは、出願する前に日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

【特記事項（一般選抜）】

1 出願資格

(1) 出願資格

本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 1)の①から⑥のいずれかに該当する者

ただし、②、③、④、⑤又は⑥に該当する者は、事前に出願資格認定審査を行います(P. 2 参照)。

2 選抜方法

口頭試問、成績証明書、研究計画書、研究論文等（インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）等を総合判定して合格者を決定します。

なお、口頭試問の試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P. 6)を参照してください。

また、海外在住の志願者で希望する者に対しては、審査のうえインターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「2 出願資格(3) 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について」(P. 3)を参照してください。

(インターネットを用いた口頭試問の留意事項)

- ・本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

【特記事項（社会人特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する社会人に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。

2 出願資格

(1) 出願資格

入学時まで企業等（※1）において2年以上（修士課程（博士前期課程含む。以下同じ）修了者（見込みの者を含む）については1年以上）正規の職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長等に認められ**在職のまま入学を希望する者**で、本文「2 出願資格(1)出願資格」(P.1)の①から⑥のいずれかに該当する者（※2）

（※1）「企業等」とは、民間企業、官公庁、教育機関、研究機関等をいいます。なお、民間企業の中に個人事業主を含みます。

（※2）②、③、④、⑤又は⑥に該当する者は、事前に出願資格認定審査を行います（P.2 参照）。

3 選抜方法

口頭試問、業務経歴書、研究業績書、研究計画書、研究論文（修士論文、修了制作資料を含む。インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）、推薦書、成績証明書、受験承諾書等を総合判定して合格者を決定します。

なお、口頭試問の試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P.6)を参照してください。

また、海外在住の志願者で希望する者に対しては、審査のうえインターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「2 出願資格(3) 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について」(P.3)を参照してください。

（インターネットを用いた口頭試問の留意事項）

- ・ 本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・ 受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

【特記事項（外国人留学生特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する外国人留学生に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。
- (3) 東京都立大学大学院システムデザイン研究科の授業は原則として日本語で行われる。

2 出願資格

(1) 出願資格

日本国籍を有しない者（出入国管理及び難民認定法において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者）で、長期に渡る留学に耐えられる健康状態の者のうち、**本文「2 出願資格(1)出願資格」(P.1)の②又は⑥のいずれかに該当する者**

なお、国費留学生については、文部科学省の定める要項にある資格を満たしていること。

(2) 出願資格認定審査

本選抜に出願する者は事前に出願資格認定審査を行いますので、本文「2 出願資格(2)出願資格認定審査」(P.2)を確認のうえ、申請書類を提出してください。

ただし、国費留学生は出願資格認定審査を免除します。

3 選抜方法

第一次試験及び第二次試験の結果並びに提出書類を総合判定して、合格者を決定します。

(1) 第一次試験

書類選考を行い、合格者を決定します。第一次試験合格者に対し、第二次試験を行います。

なお、第一次試験の合格通知は以下のとおり行います。

＜夏季募集＞2020年8月4日（火） 郵送により本人に通知します。

＜冬季募集＞2021年1月12日（火） 郵送により本人に通知します。

(2) 第二次試験

口頭試問を行います。

なお、試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P.6)を参照してください。

また、海外在住の志願者で希望する者に対しては、審査のうえインターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「2 出願資格(3)受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について」(P.3)を参照してください。

（インターネットを用いた口頭試問の留意事項）

- ・ 本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・ 受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

博士後期課程の概要

【情報科学域】

情報科学域では基礎理論、アーキテクチャ、コンテンツを柱とするコンピュータサイエンスに基盤を置きつつ、特に「ビッグデータ・マイニング分野」、「人工知能・自然言語処理分野」、「ソーシャル・マルチメディア分野」の三つの分野を柱としたコンテンツに関する最先端の技術を重視した教育研究を実施する。最新かつ実践的な知識と研究開発能力を身につけることができるようカリキュラムを構成することで、ダイナミックな産業構造を有し、急速な進展を続ける高度な知的社会の構築に貢献できる人材の育成を目指す。

(1) ビッグデータ・マイニング分野

ビッグデータやデータマイニングなど大規模データの活用に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、ビッグデータ・マイニング特別講義などである。

(2) 人工知能・自然言語処理分野

人工知能や自然言語処理など知的処理・システムの実現に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、人工知能・自然言語処理特別講義などである。

(3) ソーシャル・マルチメディア分野

ソーシャルメディアやマルチメディアなど現代社会に流通する多様なメディアの活用に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、ソーシャル・マルチメディア特別講義などである。

【電子情報システム工学域】

電子情報システム工学は、情報、通信、エレクトロニクス、エネルギーに代表されるように、現代社会を支える基盤技術であると同時に、先端・フロンティア技術でもある。新たな技術開発においても、電子情報システム工学の果たす役割は今後ますます重要なものとなることが予想される。このような背景を踏まえ、本学域では、電子情報システム工学分野の高度な専門教育と先端的課題研究を通して、「情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する体系的・総合的知識基盤を持つ創造的な技術者・研究者を育成すること」を基本理念としている。そして、「情報ネットワークシステム」、「通信システム」、「エネルギー情報システム」の3領域を電子情報システム工学における学問体系の主要な柱と位置づけ、これらの体系的・総合的知識に基づく高度な実践力、課題解決・発見能力、高い倫理観・使命感を兼ね備えた技術者・研究者の育成を目指している。

(1) 情報ネットワークシステム領域

ネットワークプロトコル、高信頼化技術、セキュリティ、故障解析・信号処理、ネットワーク最適化、オペレーションズマネジメント、人工知能応用などを扱う「情報ネットワーク分野」、およびディペンダブルコンピューティング、信頼性評価・理論、最適化理論応用、システムマネジメント、社会情報システム論などを扱う「社会情報システム分野」に関する教育・研究を行う。主要科目は、情報ネットワークシステム特別講義などである。

(2) 通信システム領域

電磁界、電気信号、超音波などを介した生体・生命体等の計測・評価などを扱う「医用工学・生体計測分野」、および電磁・光信号等を介した環境計測、電磁環境評価、環境についての予測や影響評価などを扱う「環境情報システム分野」に関する教育・研究を行う。主要科目は、通信

システム特別講義などである。

(3) エネルギー情報システム領域

情報・通信システムやセンシングシステムなどを支える機能デバイス・システム創成を扱う「機能デバイス・電子システム分野」、およびパワーエレクトロニクス、エネルギーマネジメント、電磁エネルギー応用、エネルギー・環境応用などを扱う「エネルギーシステム分野」に関する教育研究を行う。主要科目は、エネルギー情報システム特別講義などである。

【機械システム工学域】

機械システム工学域では、主体的な研究開発や問題解決を行うための高度な知識を獲得させるため、3つの基幹分野である「知能機械」、「機械創成」、「生体機械」に関する分野へ適用していく方法の観点から体系的・横断的に学修する環境を提供する。また、主要な科目として、知能機械システム特別講義がある。そしてこれらの学修を通じて、十分な基礎学力、論理的思考力、問題設定・解決能力、柔軟な思考と大胆な発想力、倫理観を併せ持つ人材を育成することを教育・研究の目標とする。

(1) 知能機械領域

「機械制御・知能化システム」および「サービス情報・ロボット工学」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、知能機械特別講義などである。

(2) 機械創成領域

「機能表面・ナノマイクロデバイス」と「機械材料・材料加工」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、機械創成特別講義などである。

(3) 生体機械領域

「医用工学・生体工学」および「人間工学・福祉工学」関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、生体機械特別講義などである。

【航空宇宙システム工学域】

教育研究の専門分野構成は、流体力学、推進システム工学、材料・構造工学、誘導制御工学、システム設計工学、宇宙利用工学の6分野からなる。各分野とも1つの特別講義と6つの演習科目(各半期)を用意している。

各分野の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) 流体力学分野

飛翔体の空力性能に関わる流れの諸問題や航空宇宙分野のさまざまな流体現象に関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙流体力学特別講義である。

(2) 推進システム工学分野

航空機やロケットの推進システムや宇宙空間での移動のための電気推進に関する教育研究を行う。主要科目は、推進システム工学特別講義である。

(3) 材料・構造工学分野

航空機・ロケットの複合材料構造や耐熱材料、宇宙環境での材料プロセスに関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙材料・構造工学特別講義である。

(4) 誘導制御工学分野

宇宙ロボット・宇宙テザーなどの宇宙インフラストラクチャの力学と制御、宇宙環境でのデブリ除去、航空交通管理ならびに航空機制御に関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙誘導

制御工学特別講義である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構、海上・港湾・航空技術研究所）の客員教授が加わる。

(5) システム設計工学分野

航空機・宇宙機を構成する要素設計、及びそのための数理的手法のほか、それらの機能確認やシステムインテグレーションに関する教育研究を行う。主要科目は、システム設計工学特別講義である。

(6) 宇宙利用工学分野

宇宙からの衛星を利用したリモートセンシング、光計測および宇宙でのトライボロジー技術に関する教育研究を行う。主要科目は、宇宙利用工学特別講義である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構）の客員教授が加わる。

【インダストリアルアート学域】

インダストリアルアート学域では、「プロダクトデザイン」と「メディア創生」の2つの研究領域を基軸とし、多様に連携しながら最先端の研究を推進し、新しい価値の創造を展開していく。工学系デザインと芸術文化的な基盤を総合的に捉え、デザイン・アート分野の先進的研究者の育成および国際的にこの分野を先導する水準の創造・研究・実践者の育成を目指している。

各領域の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) プロダクトデザイン領域

交通機関、家電製品、工業製品、インテリア、空間などのデザインや人間工学など、人と環境双方からのアプローチによるデザイン教育・研究を行う。主要科目は、プロダクトデザイン特別講義などである。

(2) メディア創生領域

インタラクティブアート、映像、ヴァジュアルコミュニケーション、ネットワーク、ソフトウェアなどのデザインや文化編集など、先端メディア・テクノロジーおよびデザイン、芸術文化に関する教育・研究を行う。主要科目は、メディア創生特別講義などである。

博士後期課程 指導予定教員一覧(1)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	ビッグデータ・マイニング Big Data and Data Mining	教 授	高間 康史
		教 授	松田 崇弘
		准教授	片山 薫
		准教授	横山 昌平
	人工知能・自然言語処理 Artificial Intelligence and Natural Language Processing (AI & NLP)	教 授	西内 信之
		教 授	山口 亨 ※1
		准教授	小町 守
		准教授	福井 隆雄
	ソーシャル・マルチメディア Social Computing and Multimedia	教 授	會田 雅樹
		教 授	小野 順貴
		教 授	貴家 仁志 ※2
		准教授	藤吉 正明

※1 2022 年 3 月定年退職予定

※2 2023 年 3 月定年退職予定

博士後期課程 指導予定教員一覧(2)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science(EECS)	情報ネットワークシステム Computer Networks and Systems	教 授	朝香 卓也
		教 授	開沼 泰隆 ※1
		教 授	梶原 康博
		教 授	福本 聡
		教 授	三浦 幸也
		教 授	安田 恵一郎
		教 授	山本 久志 ※2
		准教授	西川 清史
	通信システム Telecommunications and Sensing Systems	教 授	阿保 真
		教 授	内田 諭
		教 授	鈴木 敬久
		教 授	田川 憲男
		教 授	松井 岳巳
		准教授	大久保 寛
		准教授	柴田 泰邦
	エネルギー情報システム Electrical Engineering (EE)	教 授	須原 理彦
		教 授	朽久保 文嘉
		教 授	三浦 大介
		教 授	渡部 泰明
		准教授	五箇 繁善
		准教授	中村 成志
		准教授	和田 圭二

※1 2023 年 3 月定年退職予定

※2 2022 年 3 月定年退職予定

博士後期課程 指導予定教員一覧(3)

学域名	領域名	教員 職・氏名
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	知能機械 Intelligent Mechanical Systems	教 授 小口 俊樹
		教 授 久保田 直行
		教 授 児島 晃
		教 授 下村 芳樹
		教 授 増田 士朗
		教 授 吉村 卓也
		准教授 武居 直行
		准教授 和田 一義
		連携大学院 教 授 安藤 慶昭
		連携大学院 教 授 谷川 民生
		連携大学院 教 授 持丸 正明
		連携大学院 准教授 大関 崇
	機械創成 Mechanical Innovation	教 授 笥 幸次
		教 授 小林 訓史
		教 授 諸貫 信行 ※
		教 授 楊 明
		准教授 小方 聡
		准教授 金子 新
		准教授 菅原 宏治
		准教授 高橋 智
		連携大学院 教 授 壹岐 典彦
		連携大学院 准教授 瀬川 武彦
	生体機械 Biomechanical Engineering	教 授 瀬尾 明彦
		教 授 長谷 和徳
		教 授 藤江 裕道
		教 授 若山 修一
		准教授 小原 弘道
		准教授 角田 直人
		准教授 坂元 尚哉

※ 2022 年 3 月定年退職予定

博士後期課程 指導予定教員一覧(4)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	流体力学 Aerodynamics and Fluid Dynamics	准教授	田川 俊夫
	推進システム工学 Propulsion Systems	准教授	稲澤 歩
		准教授	各務 聡
		准教授	櫻井 毅司
	材料・構造工学 Materials and Structures	教 授	北 蘭 幸一
	誘導制御工学 Guidance, Control and Dynamics	教 授	小島 広久
		教 授	武市 昇
		連携大学院 教 授	古賀 禎
		連携大学院 教 授	牧 緑
	システム設計工学 Systems Design Engineering	教 授	金崎 雅博
		教 授	佐原 宏典
	宇宙利用工学 Space Utilization Technology	教 授	石井 昌憲

博士後期課程 指導予定教員一覧(5)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
インダストリアルアート 学域 Department of Industrial Art	プロダクトデザイン Product Design	教 授	笠松 慶子
		教 授	難波 治 ※
		教 授	藤原 敬介
		准教授	金 石振
		准教授	馬場 哲晃
	メディア創生 Media Origination	教 授	菊竹 雪
		教 授	串山 久美子
		教 授	今間 俊博 ※
		准教授	楠見 清

※2022 年 3 月定年退職予定

連絡及び問い合わせ先

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係
TEL 042-585-8623 (ダイヤルイン)

※東京都立大学ホームページ <https://www.tmu.ac.jp/>

※システムデザイン研究科ホームページ <https://www.sd.tmu.ac.jp/>

2021 年度

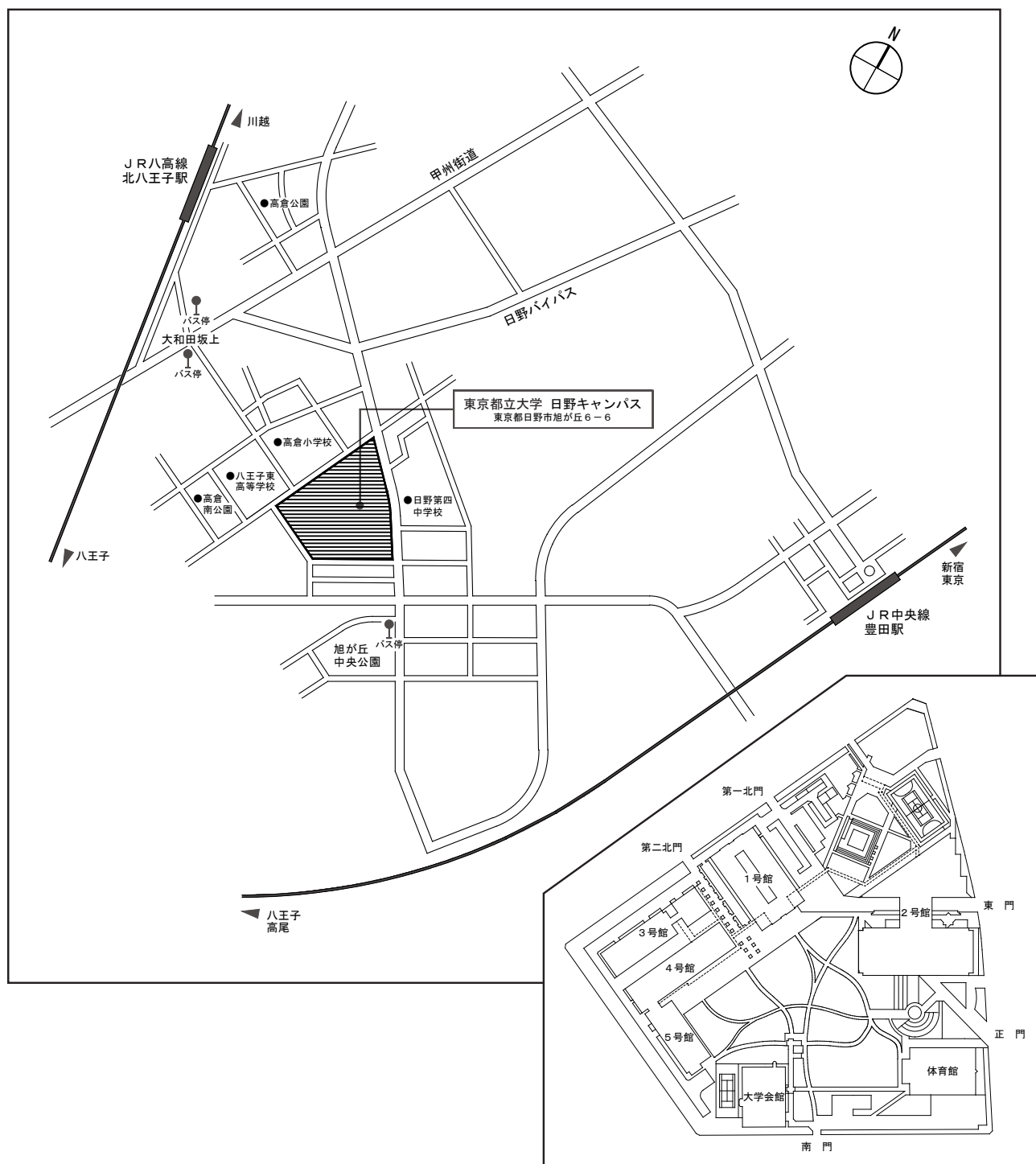
東京都立大学大学院システムデザイン研究科
学生募集要項 (博士後期課程) <夏季入試・冬季入試>

2020 年 4 月発行

編集・発行 東京都公立大学法人
東京都立大学日野キャンパス管理部学務課
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
Tel042-585-8623 (ダイヤルイン)

印刷 株式会社八王子印刷
東京都八王子市大和田町 6-6-9

東京都立大学（日野キャンパス）への交通機関



- JR中央線「豊田」駅（北口）から徒歩約20分 又は京王バス
「平山工業団地循環」乗車（約10分）、「旭が丘中央公園」下車 進行方向へ徒歩約5分
- JR中央線「八王子」駅（北口）から京王バス
「日野駅行き」又は「豊田駅北口行き」乗車（約15分～30分）「大和田坂上」下車徒歩約10分
- JR八高線「北八王子」駅から徒歩約15分
- 京王線「京王八王子」駅（西口）から京王バス
「日野駅行き」又は「豊田駅行き」乗車（約15分～30分）「大和田坂上」下車徒歩約10分

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
再生紙を使用しています。